

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①普通科は、外国語教育・理数教育を重点化し、探究的な学びの推進、教科等横断的な学びの推進により教育課程の深化を図る。</p> <p>②専門学科は、専門力の向上と教育課程の共通化をいかした学力向上をめざす。</p> <p>③外国につながるのある生徒への支援体制を強化する。</p>	<p>①②STEAM教育研究推進校としての取組を深化させ、教科横断的な学びや探究的な学びの機会を充実させ、全学科の生徒の能力を伸ばす。</p> <p>①②DXハイスクールの取組を推進し、情報端末や機器を整備し、学習効果が高まる環境を整備する。</p> <p>②教育課程の共通化をいかし、専門学科の生徒の学びの深化を図る。</p> <p>③校内体制を整理し、組織的に支援できるようにしていく。</p>	<p>①②授業研究の成果を年2回、各教科で実施する。また、教科横断的な学習プログラムや探究学習に関するプログラムについての研究開発、職員への啓発活動、他校への普及活動等を行う。</p> <p>①②ICT機器の定期的なメンテナンス、生徒へのサポート体制を充実させ、必要に応じて効果的な活用ができる体制を作り、具体的な活用方法の職員に向けた校内研修や情報共有を積極的に実施する。</p> <p>①②英語の外部検定試験の受検や、大学入試での利用方法について周知し、受検を推奨する。</p> <p>③業務分担を明確にし、組織的に支援を行うことができるようにする。</p>	<p>①②生徒による授業評価の項目「他の教科で学んだことが、別の学習の場面で生かしている」に対する肯定的な回答が65%以上になっているか。また、「授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、解決の方法を考えたりすることができた」に対する肯定的な回答が65%以上となっているか。</p> <p>①②一人一台端末の活用状況についてのアンケートを実施し、活用の満足度75%以上を目標とする。</p> <p>①②英語の外部検定試験の受検者数等、全体の状況を把握し、合格者数が前年度より増加したか。</p> <p>①②英語の外部検定試験の校内実施について、引き続き検討できたか。</p> <p>③業務分担を明確にし、組織的な体制を構築することができたか。</p>
2 生徒指導・ 支援	<p>①生徒が起点となる主体的活動の経験値を重ね、活力と発信力のある生徒を育成する。</p> <p>②サポート体制の強化により教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③安全な交通社会の一員として交通安全教育の推進を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に取り組む4学科交流による相互作用のある行事と普通科と専門学科生徒の融合による相乗効果が生まれる部活動の充実を図る。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心とした組織的な教育相談体制を定着させ、早期対応と情報共有の充実を図る。</p> <p>③交通安全教育及び啓発活動の充実を通して、生徒の交通安全意識を高め、ヘルメット着用等の安全行動の定着を図る。</p>	<p>①WE FES 生徒実行委員会の活性化により、生徒主体で企画・運営し、活力ある行事として充実を図る。</p> <p>①部活動において、4学科生徒の融合による効果が、実績だけでなく地域貢献度や満足度で示されるよう充実を図る。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心に、定期的なケース共有の場を設定し、早期発見・早期対応につなげ、年次・担任・関係職員との連携を強化し、必要に応じて迅速に支援が行える体制を整える。</p> <p>③交通安全運動やHR等を活用し、実態に即した交通安全教育と啓発を継続的に行う。また、日常的な声かけや保護者等との連携を通して生徒の安全意識を高める。</p>	<p>①生徒実行委員会の活動回数や内容を活性化し、4学科交流による相互作用のある行事として充実が図れたか。</p> <p>①部活動における普通科生徒の高参加率、満足度は得られたか。実績や貢献等により、かながわ部活ドリム大賞等の受賞はなされたか。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心とした定期的なケース共有と関係職員の連携により、生徒の課題を早期に把握し、必要な支援を迅速かつ適切に行える体制が機能しているか。</p> <p>③交通安全運動やHR等を通じた継続的な指導と日常的な声かけができたか。生徒の安全意識が高まり、ヘルメット着用等の安全行動が実態に即して定着しているか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの才能を伸ばす個別最適な学びの推進により、国公立・難関私立大学への進学をめざす。</p> <p>②困難な状況にも屈せず立ち向かうたくましい弥栄人を育成し、卒業後の姿を自ら描けるキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>①大学や専門学校等の情報収集を行い、生徒一人ひとりの進路実現に向けて、入試対策等情報を提供する。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現の支援に向けて、「総合的な探究の時間」のさらなる充実を図る。</p>	<p>①全体の進路ガイダンス・説明会を年間4回、分野別進路説明会等を年間2回開催し、生徒への情報提供の充実を図り、生徒一人ひとりの進路実現に向けた支援を図る。</p> <p>②高大連携や外部機関等を活用し、体験的な学習・探究の機会の充実を図る。</p> <p>①②キャリア教育、進路活動における「やえいノート」の活用の充実を図る。</p>	<p>①全体の進路ガイダンス・説明会を年間4回、分野別進路説明会を年間2回開催し、生徒一人ひとりの進路実現に向けた情報提供・入試対策等を行うことができたか。</p> <p>②体験的な学習・探究機会を計画的に実施することができたか。</p> <p>①②「やえいノート」を活用する場面を充実させることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の小中学校・特別支援学校・大学や博物館等との機動的な連携を図り生徒の自己有用感につなげる。</p> <p>②地域との協働により地域貢献意識の向上を図り地域に信頼される学校づくりをめざす。</p>	<p>①地域の小中学校等の機関との連携を深め、生徒が地域と積極的に関わることで自己有用感を育む。</p> <p>②地域との協働の機会を的確にとらえ、生徒の地域貢献への意識を高める。</p> <p>②学校行事等の情報発信等、広報活動の充実を図ることで、本校の特色と魅力、教育活動を周知し、地域に信頼される学校づくりをめざす。</p>	<p>①地域の公民館、特別支援学校、大学等との連携事業に、生徒が意欲的に参加できるように、生徒への周知等を工夫する。</p> <p>①現在の連携を有効活用し、小中学校、公民館等の地域ボランティアとしての関わりを増やす。</p> <p>②地域貢献活動を積極的に推進し、本校の教育活動の周知をホームページやSNS等で広く行い、本校の魅力と特色をアピールするとともに、行事の報告等を適宜掲載し、ホームページによる情報発信の充実を図る。</p>	<p>①連携事業や地域ボランティア活動に、引き続き多くの生徒の参加があったか。</p> <p>②速やかにかつ適切に本校の魅力と特色を発信するために、ホームページの更新頻度を上げられたか。</p> <p>②学校広報活動を積極的に展開するために、メディア等による学校紹介の機会を逃さずとらえたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①広い敷地を有効活用できる環境の整備を進める。</p> <p>②防災教育・安全教育の組織的推進を図る。</p> <p>③事故・不祥事防止を徹底する。</p> <p>④働き方改革を進め、教職員の資質向上に努める。</p>	<p>①校内の不要物品、老朽物品に関して適切に対応する。</p> <p>②災害時に教職員が生徒とともに適切に対応できるようになるような防災教育を実践する。</p> <p>③教職員一人ひとりが人権尊重の精神を身に付け、高い倫理観をもって行動することで、不祥事を未然に防止する。</p> <p>④教職員の参画意識を高め、一体感を醸成する。</p>	<p>①校内の清掃活動を定期的実施し、不要物品の廃棄や老朽物品の整理をし、計画的に更新を行い、環境維持に努める。</p> <p>①④職員室のオフィス改善事業を計画的に実施し、円滑な物品更新と業務効率化を図る。</p> <p>②基本的な防災訓練とともに、ICTを活用した新しい訓練を生徒が経験できるように取組を進める。地域防災活動にも参加することを検討する。</p> <p>③人権研修や管理職講話等を通して、人権意識とコンプライアンス意識の向上を図る。</p> <p>④職員ディスカッションを開催し、学校課題に対しても考える機会をもつ。</p>	<p>①規定の手続きに従って確実に不要物品の廃棄を行い、校内美化を徹底することができたか。</p> <p>①④職員室のオフィス改善事業による物品更新が滞りなく行うことができたか。働きやすい職場づくりにつながったか。</p> <p>②生徒及び教職員の防災や安全に対する意識を高める防災訓練を実施することができたか。</p> <p>③教職員が日常の教育活動や校務において、人権尊重を意識した言動・対応を行っているか。</p> <p>④参画意識や一体感を高めることができたか。</p>